

尼崎市立中央図書館

としょかんNOW

図書館だより

中央図書館だより No. 405
令和 7(2025)年 3 月 1 日発行
尼崎市立中央図書館
〒660-0826 尼崎市北城内 27 番地
TEL (06)6481-5244
FAX (06)6481-2142



図書館ホームページアドレス

<https://www.amagasaki-library.jp>

※お使いの機種によっては、読み取らないこともあります。

※ご利用のポケット通信料は利用者のご負担となります。

尼崎と作家たち 第61回

東 多江子(ひがし・たえこ)

脚本家・小説家

1954(昭和 29)年北九州市生まれ。県立尼崎北高等学校、同志社大学文学部卒業。フリーライターを経て、脚本家・小説家として活躍。脚本に「夜のコーラス」(ラジオドラマ、芸術祭作品賞)、「ラヂオ」(ラジオドラマ、芸術祭選奨)、「ええによぼ」(NHK 朝の連続テレビ小説)、「中学生日記」(NHK 教育テレビ)、映画『仔犬ダンの物語』など多数。児童書の作品に「なにわのへこまし隊依頼ファイル」シリーズ(講談社青い鳥文庫)、『ぼくはネコのお医者さん』(講談社青い鳥文庫)などがある。



作品紹介

「ちょっとだけ弟だった幸太のこと」

東 多江子/作 そうえん社/出版 2010年

小学四年生の亮太の母親が犬のあずかりボランティアをはじめた。やってきたのは一歳半の茶色の犬。父親が『幸太』という名前を付けた。はじめは幸太のことを気に入らなかった亮太だが、しだいに弟のようにかわいがるように。でも別れはやってきて…。亮太の成長の物語。



公共施設 マネジメント パネル展

尼崎市には、数多くの公共施設がありますが、施設の老朽化や少子高齢化等に伴う市民ニーズの変化などへの対応が喫緊の課題となっています。単純に施設を減らすだけではなく、新たな交流やにぎわいをつくり出すことで、市民活動の一層の促進を目指す取組「公共施設マネジメント」について展示します。

(尼崎市 公共施設戦略課主催)

場所：2階 エントランス 期間：3月26日(水)まで

芥川賞作家 松永 K 三蔵氏講演会

松永 K 三蔵と尼崎。「バリ山行」「カメオ」、オモロイ純文学について

(共催：あまがさき観光局)

昨年『バリ山行』で第171回芥川龍之介賞を受賞した松永 K 三蔵氏。

幼少期に在住するなど、縁の深い尼崎市が自身にもたらしたものについて、また、モットーとされている「オモロイ純文運動」についてなど、お話しいたします。



【日 時】3月29日(土) 14:00～15:00

【場 所】1階セミナー室

【対 象】どなたでも(先着50名)

【申 込】Web 専用の申込みフォーム

または中央図書館2階カウンターにてお申込みください。

受付：3月5日(水)午前9時～3月28日(金)

(定員に達した場合は受付を終了します)

お申込みは
こちらから！



中央図書館100周年記念事業

数珠つなぎ

第53回

尼崎市ゆかりの方々に、愛読書・おすすめしたい本を紹介いただき、読書の輪を広げるリレー企画です。

まつなが けーさんぞう

松永 K 三蔵さん (小説家)

『赤目四十八滝心中未遂』 車谷 長吉／著 (文藝春秋 2001 年刊)

「私は来る日も来る日も、阪神電車出屋敷駅近くの、ブリキの雨が錆びついた町で焼鳥屋で使うモツ肉や鳥肉の串刺しをして、口を糊していた。」(本文より) 主な舞台が阪神尼崎の直木賞受賞作品です。著者の車谷長吉も実際に神田南通で働いていました。根無し草のように生きる男が、ひとりの女性と出会うことで物語が動き出し、徐々に熱を帯びてくる様子がモノクロの景色に色が射してくるように鮮やかです。車谷作品の魅力は何と言ってもその文章の「清潔さ」。簡潔に描かれる市井の暮らしは生々しく、刃物のように研がれた言葉で切り取られる断面に恐ろしさと美しさを同時に見ることができます。ぜひお読みください。



撮影 嶋田 礼奈



次回は、兵庫県立ピッコロ劇団劇団員の原 竹志さんです。どうぞお楽しみに！

レファレンス室

から

～新刊紹介～

『夫婦・親子の法律と手続きがわかる事典』(三修社)2025年1月発刊

親子関係、戸籍、結婚・離婚、相続、遺言など、家庭内で起こる法律問題と手続きをわかりやすく解説している事典。令和6年前半までに成立した、夫婦、親子、家族に関係するさまざまな法律の改正に対応しています。巻末には様々な事例の申立書、遺言書などの書式集も収録。誰に聞いたらよいかわからない、困ったときのトラブル解決のヒントとなる1冊です。

この資料は、3階レファレンス室でご覧ください。貸出はできません。

3階レファレンス室では調べもののお手伝いをします。遠慮なくお声がけください。

こんな質問がありました！
「富士の巻狩り」について
狩猟の装束や馬具がどの
ようなものだったか知りたい。



「富士の巻狩り」は、鎌倉時代の源頼朝による狩猟や武術などの軍事演習行事です。インターネット検索をおこない、**富士宮市観光協会ウェブサイト**などで概要を把握、分類番号210(日本史)の書架で鎌倉時代の馬具や装束が載っていそうな本を探しました。『**鎌倉の武士と馬**』(馬事文化財団)や『**イラストでみる日本史博物館 第2巻 服飾・生活編**』(柏書房)等に該当の図版が掲載されていました。またインターネットでは『**文化遺産オンライン**』(文化庁)などで、「富士の巻狩り」の様子が描かれた『**曾我物語図屏風**』が公開されています。

こんな本 入りました

『わだかまってばかり日記 本と共に』 岩瀬 成子／著 (理論社)



子どもの心を描く作家のエッセイ集。就学前から大人に至るまで、たいていの大人が忘れてしまうような、子ども時代の“ままならない”時間を綴る。その頃の気持ちにつながる本30数冊についても巻末にリストを掲載し、紹介している。

『見えなくても王手』 佐川 光晴／著 (実業之日本社)



盲学校に通う小学4年生の正彦は将棋の面白さにのめりこみ、目の見えない人でも楽しめる将棋盤と駒を使って同級生と対戦、熱中する日々を送る。そんな正彦の成長を家族や教員たちも温かく見守る。盲学校を舞台にそれぞれに成長を遂げる小学生たちの物語。

絵本・手遊び DE コミュニケーション！

絵本の選び方や楽しみ方、絵本を通したコミュニケーションについて手遊びをまじえながら、楽しくお伝えする講座です。どうぞお気軽にご参加ください♪

【日 時】3月26日(水) 11:00～11:45

【場 所】武庫東生涯学習プラザ 3階和室

【対 象】2歳までのお子さんとその保護者、妊婦(パートナーの参加も可)(先着10組)

【講 師】「ひまわりの会」の皆さん

【申 込】専用の申込フォーム または
中央図書館カウンターへ直接お申込みください。

受付: 3月5日(水)午前9時～3月25日(火)

(定員に達した場合は受付を終了します)

お申込みは
こちらから！



3月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1◆
2	3	4	5	6	7	8◆
9	10	11	12●	13	14	15◆
16	17	18	19	20	21	22◆
23	24	25	26●	27	28	29◆
30	31					

開館時間 **9:00～20:00**

※ □印は休館日です。

※ ○囲み(日・祝)の開館時間は**17:15**まで。

図書館をご利用いただいていた方のご遺族から、図書購入費のご寄付をいただき、
一般書97冊、児童書202冊を受入しました。ありがとうございました。

朗読の会 おはなし玉手箱

対面朗読ボランティア 花みずき

日時 3月11日(火) 午後2時～3時
(毎月第2火曜日)

場所 1階セミナー室

読み物 「やどかり」 庄野 潤三／著
(『ザボンの花』より) 他

※次回は4月8日(火)です。

◆おはなしの会

14:10～14:25 子ども(0～3歳くらい)と保護者

14:30～14:50 4歳くらい～小学生と保護者

14:55～15:15 小学生

●コアラくらぶ

11:00～11:30 0～3歳と保護者

詳細はホームページまたは子ども向け図書館日より
「本と友だち」をご覧ください



午後の映画会

3月14日(金)14時～(13時30分開場)

「マーガレット・サッチャー 鉄の女の涙」(105分)

監督: フィリダ・ロイド 出演: メリル・ストリープ、ジム・ブロードベント

【場所】中央図書館 1階 セミナー室

【対象】尼崎市立図書館の貸出券を持っている方

当日先着 60名(貸出券をご持参ください)



担当者のつぶやき

待ちに待った春! 春は別れと出会いの季節でもあります。たくさんの行事の中で新たな目標を見つける人も多いのでは…

中央図書館に YA コーナーがあるのをご存じですか? 中高生向けながら、興味深い本がたくさんあります。ぜひ、目標に向かっての参考になしてください。(M.Y)



4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			